

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

| | | | | | | | | | | |
|------------|--|-----------|-------------------------------|-----------------------------|-------|----------|---------|------|----------|------------|
| ①事務事業名 | | 火葬場建設事業 | | | | ②事業番号 | | 3205 | | |
| ③事業類型 | | 5. 普通建設事業 | | ④開始年度 | | 平成 25 年度 | ⑤終了予定年度 | | 平成 30 年度 | 設定なし |
| ⑥根拠法令等 | | 法令 | <input type="radio"/> 条例 | <input type="checkbox"/> 規則 | 要綱 | 計画等 | その他 | | 法令等の名称 | 泉南市火葬場管理条例 |
| ⑦実施手法 | | 直営 | <input type="checkbox"/> 全部委託 | <input type="radio"/> 一部委託 | 補助・負担 | その他 | | | | |
| ⑧関連予算科目コード | | 款 | 4 | 項 | 1 | 目 | 7 | 細目 | 2 | |
| ⑨担当部名 | | ⑩担当課名 | | | | 会計 | | 一般会計 | | |
| 市民生活環境部 | | 環境整備課 | | | | | | | | |

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

| | | |
|--|-------------------|---|
| (1)対象(誰、何に対して事業を行うのか) | 対象指標(対象者数を表す指標) | 単位 |
| ①(仮称)泉南阪南共立火葬場 | ①施設 | 施設 |
| ② | ② | |
| (2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか) | 活動指標(活動の量を表す指標) | 単位 |
| 現在稼働中の2箇所の火葬場の老朽化に伴い、阪南市と共同して、(仮称)泉南阪南共立火葬場の整備を行う。 | ①施設 | 施設 |
| | ② | |
| | ③ | |
| (3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか) | 成果指標(意図の達成度を表す指標) | 単位 |
| 新規に火葬場を建設し適正な維持管理に努める。 | ①進捗率 | % |
| | ①計算式 | |
| | ②計算式 | |
| | ③計算式 | |
| (4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連) | 総合計画体系上の位置付け | |
| 火葬場を新設し、快適で美しいまち作りを目指す。 | 政策(章) | 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち |
| | 施策大(節) | 2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、たれもが使いやすいまちをめざします |
| | 施策中 | 8 火葬場の整備 |
| | 施策小 | 1 新火葬場の建設 |

【2】各種指標値、事業費の推移

| 指標名 | | 単位 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | R2目標 | 指標値の推移における特殊要因などの説明 |
|-------|--------------|----|---------|---------|-----------|------|------|--|
| 対象指標① | 施設 | 施設 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 対象指標② | | | | | | | | |
| 活動指標① | 施設 | 施設 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 活動指標② | | | | | | | | |
| 活動指標③ | | | | | | | | |
| 成果指標① | 進捗率 | % | 14 | 26 | 100 | | | |
| 成果指標② | | | | | | | | |
| 成果指標③ | | | | | | | | |
| 事業費 | 投入人員 | 人 | 1.50 | 1.20 | 0.80 | | | 事業費などの推移における特殊要因などの説明 |
| | 正職員 | 人 | 0.00 | 0.00 | 1.00 | | | |
| | 任期付職員 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | |
| | 臨時職員 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | |
| 事業費 | 人件費(投入人員*単価) | 千円 | 12,048 | 9,636 | 9,766 | 0 | | 施設の完成・運用開始に向けて建設工事を進めた。また、特定財源については、火葬場整備事業債の他、事業費のかかった費用の半分と、別途人件費として年間500万程を阪南市に負担していただいている。 |
| | 直接事業費 | 千円 | 315,790 | 258,173 | 1,573,778 | | | |
| | 総事業費 | 千円 | 327,838 | 267,809 | 1,583,544 | 0 | | |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 受益者負担金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | その他特定財源 | 千円 | 162,706 | 133,506 | 791,700 | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 165,132 | 134,303 | 791,844 | 0 | | |

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

| | |
|---|--|
| ①この事業を開始したきっかけは何か。 | 現在稼働中の2箇所の火葬場の老朽化に伴い、阪南市と共同して、(仮称)泉南阪南共立火葬場の整備を行う。 |
| ②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。 | 稼働中の火葬場の老朽化が進んでおり、早期の建設が望まれる。 |
| ③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。 | — |

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

| 評価項目 | 評価及び理由・説明等 | |
|---|--------------------------------|--------------------------------------|
| ①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。 | ア. する アイ. ある程度 ウ. しない | — |
| ②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。) | ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ | 火葬場が故障すると直ちに市民生活に影響を与える。 |
| ③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。) | ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない | 近隣市と比較しても適正である。 |
| ④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。 | ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない | 既存火葬場の老朽化が進んでおり故障するとただちに市民生活に影響を与える。 |

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

| | | |
|---|---------------------------------|---------------|
| ⑤期待どおりの成果が得られていますか。 | ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない | 計画通り、施設が完成した。 |
| ⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。) | ア. ある イ. ない | — |
| ⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。 | ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない | — |

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

| | | |
|--|----------------|---|
| ⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。) | ア. ある イ. ない | — |
| ⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。) | ア. ある イ. ない | — |

4. 総合評価

| 総合評価 | 評価(A~D) | 個別評価の結果を踏まえて課題等を整理 | A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要 |
|------|----------|---|--|
| | A | 施設の完成・運用開始に向けて建設工事を進めた。また指定管理者の選定等を実施し、適正な管理運営に努める。 | |

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

| | |
|------------------------------------|--|
| ウ | <p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 (30 年まで)</p> <p>エ. 休止 (年 年から)</p> <p>オ. 廃止 (年 年から)</p> |
| ウ | <p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p> |
| ①改革、改善の具体案、実施年度など | — |
| ②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策 | — |